

学校名 \_\_\_\_\_

## やはずのうじまたちコース

学年・名前 \_\_\_\_\_

旧石器時代 縄文時代 **弥生時代** 古墳時代 奈良時代 平安時代 鎌倉時代 室町時代 江戸時代 明治・大正・昭和

### 《土地の神に対するふたりの豪族の態度》

常陸国風土記行方郡の部分に、「やはずのうじまたち」と「みぶのむらじまろ」という人物のことが書かれています。やはずのうじまたちは古墳時代、みぶのむらじまろは奈良時代の豪族です。やはずのうじまたちは、「やとの神」と人との境を決めながら水田をひろげていきますが、みぶのむらじまろは、水田を開発するのは天皇の命令であるという理由で、開発をさまたげるものは土地の神であつてもうち殺すことを宣言します。ふたりの態度のちがいがから天皇を中心とする国づくりのようすがわかります。  
※風土記は奈良時代につくられた記録です。

問題1 弥生時代になると稲作がはじまるようになりました。稲作に使われる道具にはどんなものがあるか、展示品からさがしましょう。( )

問題2 弥生時代の終わりから古墳時代のはじめにかけて、茨城県地方に新しい人々が移り住むようになりました。茨城県の弥生式土器(右)と、新しく来た人の土器(左)をくらべてちがいを書きましょう。



ふたつの土器をくらべてね



新しい人々が移住してくると、水田がたくさんつくられるようになり、各地にムラができました。稲作の技術が広まると、人々の中に支配者があらわれるようになりました。やがて、支配者は特別なお墓をつくるようになりました。

問題3 弥生時代の終わりから古墳時代のはじめ頃、各地でいろいろな形のお墓がつけられました。茨城県では、( )に囲まれたお墓が見つかっています。この頃、奈良県の大和地方では、円形と方形を組み合わせた新しいお墓がつけられました。これが前方後円墳です。やがて、大和地方の豪族は大陸や朝鮮半島との交流を通して力を強め、各地の豪族をしがえるようになりました。その結果、前方後円墳が各地につくられるようになりました。

前方後円墳の広がり、大王とよばれた大和地方の豪族を中心に、九州から東北地方の一部まで統一されたことを物語っています。この大王の政府を大和朝廷とか大和政権とよんでいます。

問題4 古墳の中からはどのような物が出土していますか。展示品を見て考えましょう。古墳のまわりをかこんだ焼きもの( ) 銅で作られた円形のもの( )

写真A

写真B



問題5 舟塚古墳から何がわかるか考えましょう。写真Aの舟塚古墳の形は( )

問題6 古墳の中には横穴式石室の中に絵が描かれたものがあります(写真B)。古墳の名前を書きましょう。ひたちなか市にある( )古墳です。

問題7 古墳時代の終わりのころ、外国にならって国づくりが進められました。その中心となったのが聖徳太子しやうとくだいしです。聖徳太子は、中国や朝鮮半島からすぐれた技術者をまねき、天皇（古墳時代の大王）を中心とした国づくりを行いました。聖徳太子が活躍したころも古墳がつくられていましたが、はにわがなくなり、古墳の規模も小さくなりました。  
この頃つくられたのが（ ）古墳で、美豆良みづらや銀製带状金具などが発見されています。



### 《天皇を中心とした国づくり》

奈良時代の地方には、それぞれ国・郡・里（郷）という政治を行うしくみができました。

国（くに）・・・茨城県は常陸国と下総国むつのくにの一部、それに陸奥国むつぬくにの一部です。

常陸国の役所は現在の石岡市に置かれました。

郡（こおり）・・・常陸国11郡（茨城県の大部分）、

下総国4郡（現在の結城市・古河市・下妻市・守谷市・利根町など）

陸奥国1郡（現在の太子町）

里（さと）・・・50戸で1里となります。1里は約1300～1400人と推定されています。

### 奈良時代の常陸国

○水田の面積は全国第2位（国の等級に大国・上国・中国・下国・小国がありました）

常陸国の等級は（ ）国

○人口は全国第（ ）位（推定約22万人）

問題8 奈良時代の農民の負担をパネル（税の制度）からさがしてみよう。

（ ）・・・収穫量の約3%をおさめた

（ ）・・・布や地方の特産物をおさめた

（ ）・・・1年に10日働くかわりに布をおさめた

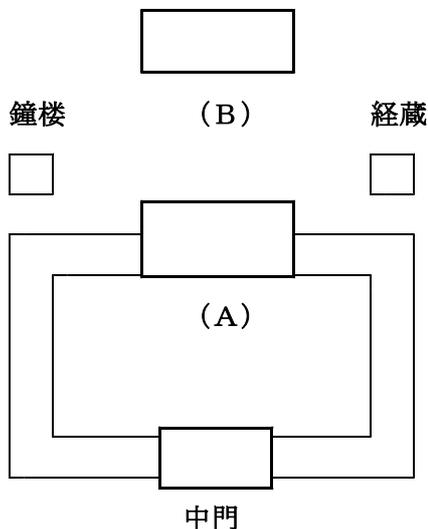


漆紙文書、特殊なカメラで撮影した状態を復元した

問題9 石岡市に漆紙文書うるしがみもんじよが出土した遺跡があります。この遺跡は、鉄の武器や農具を作った国営の工場です。この遺跡の名前を書きましょう。

（ ）遺跡

問題10 国分寺の模型を見て（ ）の中に名前を書きましょう。



A～Cの建物の名称を書きましょう

A（ ）中心となる仏像が置かれていた

B（ ）僧がお経を学ぶ場所

C（ ）聖武天皇のお経がおさめられた

